

平成27年度 合同地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成28年2月2日（火）10:00～11:05
2. 開催場所 村上市役所本庁舎 5階 第5会議室
3. 出席委員 (村上地区) 山口治雄 会長
(荒川地区) 会田健次 会長、信田瑠美子 副会長
(神林地区) 大嶋芳美 会長、坂上孝雄 副会長
(朝日地区) 忠 隆司 会長、大滝重秋 副会長
(山北地区) 富樫保晴 会長、佐藤憲一 副会長
4. 欠席委員 (村上地区) 浅野謙一 副会長
5. 出席職員 高橋市長、鈴木副市長
(村上地区事務局) 佐藤自治振興課長、太田課長補佐
(荒川地区事務局) 小川荒川支所長、小川課長補佐
(神林地区事務局) 鈴木神林支所長、瀬賀課長補佐
(朝日地区事務局) 齋藤朝日支所長、鈴木課長補佐
(山北地区事務局) 五十嵐山北支所長、小田課長補佐
(政策推進課) 渡辺課長、竹内参事、田村係長、渡辺主査
6. 傍聴者 (報道関係者) 新潟工業経済新聞社新潟支局
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

合同地域審議会次第

日時 平成28年2月2日(火)

午前10時から

場所 本庁舎5階第5会議室

- 1 開会
- 2 出席者紹介
- 3 第2次村上市総合計画策定に向けての提言
- 4 市長あいさつ
- 5 意見交換
- 6 閉会

会議経過

1. 開会 (10:00)

事務局； 今日はお忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。ただいまより合同地域審議会を開催いたします。私、本日の進行を務めます政策推進課長の渡辺と申します。よろしくお願いいたします。

2. 出席者紹介

事務局； それでは始めに出席者の紹介をしたいと思います。

【出席者紹介】

事務局； なお、村上地区の浅野副会長は本日欠席のご連絡をいただいております。続きまして市側の出席者でございます。

【高橋市長、鈴木副市長、自治振興課長、各支所長、担当室長を紹介】

3. 第2次村上市総合計画策定に向けての提言

事務局； それでは早速ではありますが、次第の3にあります提言につきまして始めたいと思います。

【村上→荒川→神林→朝日→山北地区の順で市長に提言書を提出】

4. 市長あいさつ

事務局； 市長よりごあいさつを申し上げます。

市長； 皆さま、改めましておはようございます。ただ今は各地域審議会からの提言をしっかりと受け止めさせていただきました。やはり我々が共通の課題として捉えている部分、各世代のあり方、これからどういう形でこのまちの中で暮らしている市民一人ひとり、各世代の一人ひとりがしっかりと誇れるふるさと村上として、そのことに思いをはせながら、生活していくことが必要であり、それをするためにはどうすればいいのかというご提言だったと私は捉えております。とりわけ、その中でも各地区の課題を十分精査されましてそれに向けた具体的な提言をいただいているところでもあります。やはり非常に悩ましい問題だったと思いますが、例えば、提言の一つに小中学校の統廃合の部分に触れられているところもあります。我々がここでずっと暮らして行って子どもたちを健やかに育てるためにどういう社会資本の整備をしていかなければならないのか、行政としてどういう仕組みづくりをしていかなければならないのか、それをするにしてもそういう公共施設が統廃合をよぎなくされるこれはやはり人口が大いに減少しているところに課題がありますけれども、そのことに前向きにしっかりと取り組みというご提言だったと私は受け止めております。

今回の国勢調査の速報値では若干これまでの人口減少のシミュレーションから見ますと上振れという状況にあります。それが今、私たちが抱えている問題の現れであると思います。やはり、それについて手をこまねいているだけではなく、何とかしようという思いで、少なからずいろいろな施策を展開してい

る。これがやはり時間の経過であると思います。それに向けてその課題を克服しようと思えば、しっかりと成果として表れてくるという実感もその中には見受けられると思います。ですから、こんなことを私は自信に変えながら皆さまからいただいた提言をしっかりと第2次総合計画に反映をさせていただくことが、今、最大限求められることであると思っています。

昨年末に策定した総合戦略、人口ビジョンを現在公表させていただいているわけですが、その中でも残念ながら人口は減ります。しかし、減ることに対するマイナスのイメージを持つのではなく、その中でどういう形で、このまちをさらに作り上げていくのが必要であると思っています。

皆さまからのご提言の中にも非常にそのことが強くにじみ出ているわけがありますので、それをしっかりと総合戦略、人口ビジョンを踏まえて、これから10年後、20年後、30年後という形でしっかりと継続できる。またそこに誇りを持ってまちづくりを進めることができるといった市政運営を行うことが必要であると思っています。

合併して良かった、合併が我々次の時代を担う村上市を作り上げる最大の選択だったということ踏まえながら第2次総合計画につなげていきたいと思っておりますので、これからも引き続きよろしく申し上げます。本日は大変ありがとうございました。

5. 意見交換

事務局； ありがとうございます。それではこれより市長との意見交換を始めたいと思います。先ほど皆さまより提言をいただきましたが、各地区でこの提言書をまとめるにあたって多くの議論がされたと思います。その中で、お話ししたいご意見等がございましたらご発言をさせていただきたいと考えております。特に私の方から指名することはしませんので手を挙げていただければご指名するような形にしたいと思います。ご発言がありましたらよろしく申し上げます。

神林地区； 神林地区の審議会で出された意見についてご報告いたします。

今回の提言にあたって、当地区でも活発な審議がなされました。その中で、特に意見の多かった3つの項目についてお話しさせていただきます。

まず第一に、ほとんどの委員が課題としてあげたのが、買い物困難者への支援についてです。車の運転が困難で買い物に困っている高齢者が増えていることから、こうした方々への支援が必要だという意見が非常に多く出されました。

具体的な支援策としては、企業等と連携した移動販売や配送サービス等への支援といった意見もありましたし、地域や集落での支え合いの活動を支援していく必要があるという意見もありました。

高齢者世帯や独り暮らし世帯が増えており、買い物ばかりでなく、日常生活全般で困っていることも多くあると思われ、地域コミュニティの役割はこれまで以上に重要になってきています。

神林地区の塩谷集落では、買い物に困っている人を助けようと、自発的な取り組みで食料品を販売する店を始め、週に2回営業していますが、今では高齢

者の安否確認や集いの場にもなっています。経営的にはほとんどボランティアのような状態で、まだまだ課題もあるようですが、助かっている人も多くいます。

このような取り組みが地域に根差し、今後も続けていけるように支援をすることが重要だと思います。

次に、公共交通の整備・拡充についても多くの意見がありました。神林地区には現在、「荒川・神林地区のりあいタクシー」と、村上病院方面への「通院対応のりあいタクシー」が運行されています。利用者数の推移をみると、「荒川・神林地区のりあいタクシー」の利用者は、医療機関やショッピングセンターへの利用を中心に増加していますが、「通院対応のりあいタクシー」は、行き先が村上総合病院に限定されているためか、利用者が増えていません。交通手段がなく買い物や通院に困っているという人は、今後も増えていくと予想されますので、効率的で実情に即した見直しや拡充を行う必要があると考えます。

3つ目は、神林地区の懸案事項である小・中学校の統合に関してです。神林地区では、合併前の平成19年に小・中学校の統合に関する答申が出されていますが、以後、統合の計画は具体化しないまま今日に至っています。合併後も児童・生徒数の減少が進み、数年後には複式学級になる小学校もあると伺っております。少人数のきめ細やかな教育も大切ですが、クラブ活動などの団体活動が困難になってきているのも事実ですし、複式学級になるくらいまで学級の人数が減るのは望ましいことではありません。

神林村時代に出された答申はまだ生きていと伺っておりますが、その後、小・中一貫校など新しい形態も出てきていますので、将来を見据え、きめ細やかな教育を維持しながら、速やかに統合を進める必要があると考えます。

市長； ありがとうございます。本当にそうですね。各地区で人口の動態が異なるとは思いますけれども、私も塩谷ベースにお邪魔させていただいた時に、地元の方は本当に喜んでいました。週に2回楽しみにしておられます。寄り合いになっていて、ご高齢の方がたくさんおられるのですが、そこを支えているのが若い方なんですよ。そういう形でやっている、非常に良いコミュニケーションが取れている具体的な例です。ぜひ各地区で広がってくるとありがたいなと思っています。

公共交通は非常に課題も多いです。このルートがベストだなと思って作ったところが全く利用が上がりませんでしたということもあります。ニーズの把握をしっかりとしていくことが必要で、村上市地域公共交通活性化協議会での議論も踏まえながら、しっかりと取組を進めたいと思っております。

小中学校の統廃合の問題は、皆さまのご経験では、大きな学校で育てられたと思います。今は非常にそういう状況がないという実態であります。10人を切るようなクラスがあって、複式にならざるを得ないというところがあります。比較的大きな中心校であったとしても学級数はどんどん減っていつている、学級そのものの児童生徒数が減っていつている状況もあります。やはり、ある程度のボリューム、指針の方で求めている30人程度の学級の中でしっかりと

学習をし、学問を究めながらどんどん育っていくということが人間の力を育てるためには大切なのだと思います。それができない状況があることは、私も非常に危惧しています。今回、望ましい学校の在り方の答申をいただいておりますので、その答申を踏まえながらしっかり進めていきたいと思っております。

保育園でも混合保育という形で、1歳2歳くらいの子から5歳くらいまでの子を1つのクラスとして保育しているという実態があります。小中学校の統廃合もそうですが、その前段となる保育園の統廃合も、これは非常にエネルギーのいる話だと思いますが、そこで育っている子どもたちにとって何が一番大切か、その子どもたちをしっかりと育て上げるためには何が必要かということを含んで考えていきたいと思っております。

荒川地区； 今回の提言に当たり、議論された中でいくつか私なりにまとめた要望をお話しします。

まず1つ目は、これは荒川地区に限らずの話ですが、中心市街地であります。荒川地区で唯一、中心市街地と言え、駅前周辺が街中になるわけですがけれども、合併後、急速に賑わいがなくなって空洞化しているような実態です。商工会等も対策を講じているわけですが、今後、これらの課題を検討していかなくてはなりません。

2つ目に、当荒川地区は他の地区と異なりほとんど平場で雪も少なく、非常にコンパクトで行政効率の良い地域になっています。人口の減少率も低い状況となっています。そのような関係で、市としての施策を進める際に、画一的な施策を講じるのではなく、その地域の特性に合った施策を講じる必要があります、人口減少対策の一環として、遊休公有地等を有効に活用して宅地開発などを積極的に進めてもらいたいという意見も出ました。

それから、神林地区からも話が出ましたが、高齢化が非常に進んでいるということです。買い物困難者が非常に増えております。買い物に行けない世帯が増えておまして、公共交通と併せて生活支援をしていただきたいという意見も出ました。

それから、先般、新聞等でも紹介されたのですが、県立坂町病院に併設される病児・病後児保育については、ようやく方向性が見えてきたところです。これから具体的に早期に実施していただきたいということでもあります。

最後に、地域審議会との関係もあるのですが、合併時に「合併市町村基本計画」を策定したわけですが、もうそろそろ目標年次の10年を迎えますが、まだ実施されていない事業があるように思います。それについて、今後、市として見直しをするのか市長のお考えをお聞きしたいと思います。

市長； ありがとうございます。いずれも重要なコメントをいただきました。私たちは合併を選択した時に1,174平方キロメートルという広大な面積があることを承知の上で合併しました。その結果、各地区の課題は非常に違うということを感じております。そこに同じような施策をそのまま導入しても、しっかりとした効果が表れないということがあるであろうということは、この8年間で各支所の人たちは経験したのだらうと思っています。ですから、各地区の特

性に応じた形で取組を進めることが非常に重要で、まちづくり協議会の皆さまもそういった形で取り組んでいますので、そんなところも踏まえながらしっかりとこれからの行政運営を見極めていくことが大切だと思っています。

公共交通一つをとっても、買い物困難者の部分は非常に重要で、たとえ人口が密集しているところであっても商店がなくなると買い物に行けません。どのように仕組みを作っていくか知恵を絞っているところではありますが、そこに地域の特性に応じたやり方を入れるということも必要だと思います。

病児・病後児保育施設は、ようやく県立坂町病院の敷地内で建設をさせていただきたいということで協議を進めています。これを一刻も早くすることによって、我々の求める社会福祉資源や医療資源をしっかりと作り上げていくことが、目に見える形で我々の財産として捉えていただけるのではないかと考えています。

「合併市町村基本計画」の部分ではありますが、積み残しも確かにあります。逆に言うと、計画には記載していませんでしたが、今やらなければならないこととしてやったものもたくさんあります。合併から8年経過し、これから平成29年度からの第2次総合計画を作り上げていくわけですが、当然、その中で必要なもの、必要でないもの、合併当時、みんなが真剣に考えたことですから必要でないものという語弊がありますが、我々が経験したことの無い速度で人口が減少したものですから、非常に大きな影響があったと思います。ですから、「合併市町村基本計画」に記載された趣旨をしっかりと尊重しながら、その中で選択していかなければならないと率直に思っています。皆さまとはそれを含めて合併の検証をしっかりとし、そこでイメージしたものにできればこだわることなく、これからの未来を見据えた思いを足していただければと思います。

朝日地区； 朝日地区は、市長とのふれあいトークで話が出ましたとおり、「道の駅朝日」を中核として進めたいという市長のお考えと違いないのですが、朝日地区の農林水産業が低迷しておりますので「みどりの里」の拡充と、地域審議会とは離れますが朝日祭りの復活を官民あげてやりたいと考えております。

来年は県のふるさとづくり大会が朝日地区で開催されることとなっていますので、地域住民をあげて朝日売り出していきたいと考えております。それをまず大前提によりしくお願いしたいと思います。

それともう一つは、子どもたちが安心して遊べる場が少ないという話がありました。これについても、「みどりの里」拡充の際に併せて観光にも結び付けたような公園等の整備を行っていただきたいというのがあります。

買い物困難者等の公共交通については、皆さまと同じような考え方でございました。それともう一つ、小学校の統廃合の話もありました。

その他に意見といたしまして、新潟日報で記事が出ていたと思いますが、子どもたちのスマートフォンが非常に問題になっているということです。佐渡市では独自基準ということも記事が出ていたと思いますので、それについても進めていっていただきたいと思っています。

また、先ほど市長からも話がございましたが、やはり子どものときからスポーツに触れるような機会を増やすための指導員の確保、施設整備、環境拡充をしてもらいたいという意見もございました。

最後でございますが、行政関係で、各支所につきましては有効利用していると思いますが、朝日支所はまだ活用されていないかなという意見もございました。これも併せてよろしく願いいたします。

市長； 「道の駅朝日」は、朝日地区のみならず東北に向けたゲートウェイになるのだろうというイメージで以前からお話しさせていただいておりました。幸い、国がしっかりと作り込みに力を入れていただいております。

「道の駅朝日」は非常に有効な拠点であるし、これからのタイミング的にも良いのだと思っていますので、そのことはしっかりと捉えて進めていきたいと思っています。

加えて、背景には県内でも有数の林山地があり、産業の振興も可能性があるのではないかと考えているところがあります。林業もそうですし、農業、水産業もしっかり取組をしたいと思っています。

昨年、9月からふるさと応援寄附金の返礼を始めました。その中でも農林水産業から生み出される産物は非常に好評いただいております。やはり我が村上市の非常に大きな武器となる戦力だなと確信していますので、ここを育てない手はないと思います。

販路拡大は、我々にもできる可能性がたくさんあって、北陸新幹線を経由して新潟県にたくさん入ってきていて、瀬波温泉まで来る観光周遊ルートがあります。それを踏まえれば、これから新たな形で、今までは比較的来ることができなかった地区の人たちも来ることができるのは村上市としては非常に頼りにしやすいと思います。

子育ての部分については、私もPTAを経験した時に、子どもたちのインターネット利用等について非常に危惧されていて、比較的情報に触れなければこれからの時代生きていけないということがあるので、その辺りの棲み分けをしっかりとしながら進めていきたいと思っています。やはり、子どもたちはリスク管理がまだできない状況の中で、いきなりそういうところにさらされるということになるのは大変だと思いますので、きちんとケアしていかなければならないと思っています。

スポーツ振興については、子どもの頃からしっかりと行ってあげることが大切で、それは、スポーツのみならず精神的にも非常に強い人間を育てていくのではないかと思います。今回モデルケースとしてスポーツクラブの皆さまに、幼年期の子どもたちの体力づくりを市と連携してやることを重点にしています。スポーツクラブの力は非常に大きく期待をしているところです。

支所の部分については、今、ご提言いただいたとおりだと思います。やはり支所というのは行政運営の核になっていくものだと思いますので、そこをベースにしてしっかりと地域と連携できるようにしていくことが大切だと思います。

祭りなどは、地域の元気づくりということで担当係に話をさせていただきま

した。しっかりと進めさせていただきます。

山北地区； 山北地域審議会です。我々のところでも他の地域審議会と同じような課題がたくさん出ております。先ほど市長の方から人口ビジョンが提示されました。

その中で、人口減少全体で考えるのではなくて、あえて少子高齢化、地域コミュニティの維持などを交えて提案させていただきました。

その他に、先ほど神林地区からも出ましたし、旧村上市街の方からも買い物困難者ということで提言がありました。我々のところは、過疎化が急激に進んでおりまして、限界集落ととられるところもあります。その中で買い物困難者対策は、他の地区に先駆けて行わなければならない問題として、商工会を中心にやり始めました。アドバイザーもお願いしましたし、補助金もいただきながらやってきましたが、もっともっと担当職員の方に地域の色々な団体等に積極的に関わっていただきたいと思っております。

村上市には良いものがたくさんあるということでありまして、物産会などに持っていけば喜ばれます。特色ある産品があるにも関わらず、先ほど市長も感じているとおっしゃっていましたが、今まで産品を発掘、育成、販売、PRすることが不足していたのではないかと思います。

横のつながりは別にして、一つのものに対してその担当だけではなく、もっとプロジェクトチームのような形で、各課横断的に色々していかななくてはならないと思っております。そのことについては、全体的な行政運営をお願いします。

市長； ありがとうございます。比較的、課題が明確であるということで個別の課題を提言いただいていると思っております。特に地理的な要件として山北の場合は人口減少、過疎化の率が突出していることは私も承知しています。先ほども申し上げましたとおり、そういう大きな課題に対して優先的に解決していくことが大切であると思っております。とりわけ、買い物に行く手立てが非常に悪く、私たちは車があるから行けるわけですが、実際に運転できない方はどうなるのでしょうか。それは客観的な目で見ると大切な部分であると感じていますのでしっかりと取組をしなければならないと思っております。

いろいろな課題克服の作業時における市職員の関わり方についてお話がありました。総合戦略・人口ビジョンを掲げるときに我々は各課が横断的に物事に取り組んだつもりでいますし、これまでも行政運営は横断的にやっていると。でもそれがなかなか市民の皆さまにはストレートに見えてこないと言いますか、やはり福祉であったり教育であったり社会資本整備の土木であったり、環境であったり少なからず横断的にやらなければならないものと思っておりますので、その辺のところはしっかりと見極めながら対応する工面をさせていただきたいと思っております。

例えば道の駅の問題でも地域審議会とは別にお話ではありますが、高速が伸びていくわけですから、拠点となる道の駅、道の駅朝日であったり道の駅神林であったり山北であったり、しっかりと連携することが大切であると思っております。この村上市のエリアに入ったときには、朝日もあり神林もあり山北もあるという形で距離はありますが一体として、逆にこの距離を逆手にとって、い

ろいろなメニューに会える場所、そして、必ず行った先々では村上全体を特産品も含めて見出すことができる。そんな作り込みをするのが良いと思います。南から北に向かうだけでなく、北から南に向かう、そのためのゲートウェイとして作り上げる。山北の場合は特に国道 345 号で日本海パークラインにつなげることもできます。国道 7 号にもつながります。そんな意味合いからいうと山北地区の道の駅的な拠点づくりは魅力的である。そこに暮らす方々が、魅力や誇りを見出すことは非常に良いことであると思っています。そのような形で日本海東北自動車道の延伸を含めて考えていきたいと思っています。

村上市の特産品は本当に強いので、どんどんやりたいのですが、実を言うとふるさと応援寄附金の返礼品の供給が間に合わない部分も一部あったりしたため、しっかりと供給できる体制も併せて検討しながらやっていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

村上地区； 村上地区から少しお話をさせていただきます。総合計画は村上市のいろいろな計画の中の最上位の計画であるという認識でおりますが、市民の関心度が低い前に認知度が非常に低い。総合計画はかなりのエネルギーを使って作ったものであるが、実際、市民に使われていない。使われる総合計画にするためには女性の意見、いわゆる子育てや買い物などのテーマの中に女性の意見をどんどん入れていかなければいけない。女性がどのような生活環境を望んでいるのかを組み込んでいかなければいけないと思います。

また、総合計画を遂行する中でやはり住民自治を目指していかなければならない。ぜひ第 2 次総合計画はその方向性を大きな柱として、しっかり腰を据えて策定に向けてお願いしたいと考えています。

市長； ありがとうございます。非常に大切な部分だと私も思っています。今我々はこの年を重ねてここに暮らしていますがもいつまでもいるわけでありません。この後を若い世代に委ねていくわけでありますから、その中で、どういうものが一番いいのだろうかという議論からしっかり進めてもらいたいと思っています。その中で女性の意見というのは非常に重要であると思っています。これまでも、いろいろな形で市民の皆さまにアプローチをさせていただきながら計画を作ったりしていくときに、本当に思っている思いをそこに反映させたいという形で計画を作ります。そのためにいろんな形で意見をいただく機会を設けるわけですが、なかなかご参加をいただけなかったり、ご意見がたくさんいただけなかったりというのも実際のところあると思います。ですから審議会の皆さまには、ご意見をいろんな形で幅広く集約していただけるのではなかろうかという方を人選していただいて、その方々はきっとこの村上市を今、生きている、そのタイミングで一番イメージをしていただいている方でないだろうかと思っていますし、市民一人一人に根付いた意見の聴取の仕方、そういうのも工面をすることが必要だなと今お話を聞いて感じました。

ただ、冒頭お話ありましたとおり総合計画というのは私たちの目指す方向性を指し示す計画になります。ですからこの中には理念も盛り込みたいと思います。みんながこれを見ることによって、「わが村上市は将来こうなっていく

んだな」とイメージする。それは1人1人違うのかもしれませんが、そういうことをイメージできるようなものにも作り上げたいと思います。

今日、各地区の地域審議会からご提言いただきましたが、やはり私は村上市民 64,000 人が一丸となって一つの方向に向かうこと。一つの目標を掲げながらイメージでき、どこで暮らしていてもやっぱり村上で暮らしてよかったと思える一体感が絶対必要であると思っていますので、そんなところも踏まえながら作っていきたいと思います。

6. 閉会

事務局； 各地区の会長よりご意見をいただきましたのでこれをもちまして意見交換は終了とさせていただきます。それでは、閉会のあいさつを副市長より申し上げます。

副市長； みなさんにおかれましては、各地域の審議会大変ご苦勞様でした。本当に素晴らしい提言をありがとうございます。子育て支援や買い物困難者に対する支援を含めた公共交通のあり方、教育や支所機能、職員の充実を含めた地域の活性化等、共通の課題も明確になっており、また各地域独自の課題もそれぞれ抱えているということを確認させていただきました。これをもとに第1次総合計画の総括をしながら新しい第2次総合計画に向けてしっかりとしたビジョンを持って作り込みをしていきたいと思っています。皆さまのご協力に感謝を申し上げ閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

閉会 (11:05)